

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。  
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。  
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。  
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様相談室にお問い合わせください。

(例：AM000、PW000、KG000など)

お客様相談室 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社

# SEIKO

## 衛星電波クロック

### 取扱説明書

防湿・防塵

このたびはセイコークロックをお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。  
なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

### 特長

- この時計は、GPS衛星からの電波を受信し、自動的に時刻を修正する時計です。
- 防湿・防塵タイプですので、水まわりや埃の多い所でもご使用いただけます。

## 衛星電波クロックについて

### ■衛星電波クロックとは

GPS (Global Positioning System : 全地球測位システム) 衛星から送信される時刻情報を受信して、正確な時刻を表示する時計です。衛星にはおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ原子時計が搭載されています。本製品は世界中どここの場所でも1基以上のGPS衛星から時刻情報を受信して、時刻を合わせる時計です。(※本製品は時刻情報のみを受信し、位置情報は取得しません。)

### ■タイムゾーン、サマータイムについて

協定世界時 (UTC : Coordinated Universal Time) を基準にして、その国や地域ごとに共通に使う標準時があります。標準時は協定世界時との差 (時差) で表し、それぞれの国や地域によって決められています。同じ標準時を使う地域をタイムゾーンといい、現在では39のタイムゾーンに分かれています。また国や地域によって夏の間、太陽の出ている時間帯を有効に活用する目的で現行の時刻に1時間を加えたサマータイム (DST : Daylight Saving Time) を実施しています。本製品は日本の標準時である『+9時間』が設定されています。海外でご使用する場合は、その国、地域のタイムゾーンから標準時の設定及びサマータイムの設定を行う必要があります。

## 防湿・防塵について

密閉式の枠を使っていますので、防湿・防塵効果があります。キッチン等の水まわりで使えますが、防水時計ではありませんので、浴室のように湿度が90%以上になる所では使えません。

## 必ずお読みになってからご使用ください

### 使用場所について ▶

下記のような場所では使わないでください。

機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また、本商品は業務用ではありません。

- 温度が+50℃ (50度) 以上になる所や直射日光のあたる所。(例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。)
- 温度が-10℃ (氷点下10度) 以下になる所。(プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。)
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。(磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まることがあります。)
- 浴室のように湿度が90%以上になる所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など多くの油を使用する所。(霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まることがあります。)
- ビニール系素材の壁や敷物等の上。(壁や敷物および時計が汚れたり、傷んだりすることがあります。)
- 木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガレが起きる場合があります。

本製品をご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。天候、時間帯、建物の影響などや次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。場所を変えてお使いください。

- ビルの中、ビルの谷間、地下。
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- 冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 乗り物の中 (自動車、電車、飛行機など)
- その他電波ノイズを発生させるものの近く。

※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

### お手入れについて ▶

長くご愛用いただくために、2・3年に一度の点検・調整 (有料) をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

- ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

【プラスチック枠の時計の場合】

- 枠をふくときは、湿ったやわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ぶきをしてください。

【木枠・金属枠の時計の場合】

- 汚れや埃をとるときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。

※お客様が分解しますと、修理不可能な場合やけがの恐れがあり、大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

## 必ずお守りください 安全上のご注意 ▶

### ⚠ 警告

#### <アルカリ電池について>

- (1) ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

#### <梱包用ポリ袋について>

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

#### <液晶パネルについて>

液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分注意してください。万一、以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

#### (1) 皮膚に付着した場合

付着物を拭き取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。

#### (2) 目に入った場合

きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄した後、医師の診断を受けてください。

#### (3) 飲み込んだ場合

水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、医師の診断を受けてください。

### ⚠ 注意

#### <掛け方について>

時計は確実に掛けてください。落下により、けがおよび器物を破損する恐れがあります。掛ける場所、壁の材質・構造をご確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。ご使用の際は掛け具に同梱の案内文も必ずお読みください。記載以外の取付面の場合は、建築メーカー等へご相談ください。※掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右そして手前に軽く動かし、正しく掛かっていることを確認してください。

木の厚い壁・木の柱に掛けるとき  
添付の掛け具をご使用ください。

石膏ボード・コンクリート等、上記以外の壁・柱に掛けるとき  
添付の掛け具は使用しないでください。  
市販の掛け具をご使用ください。  
※市販の掛け具によっては正しい掛け方ができない場合があります。  
<掛け方について>をよくお読みのうえ、本製品に適した掛け具をご使用ください。



#### <時計の設置場所について>

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

#### <電池について>

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- (1) 電池は必ず⊖側から入れてください。また、⊕⊖を正しく入れてください。
- (2) 製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (3) 充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
- (5) 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。
- (6) 時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。
- (7) 添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。
- (8) 充電式電池や初期電圧が高い電池は使用しないでください。正常に動作しない、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

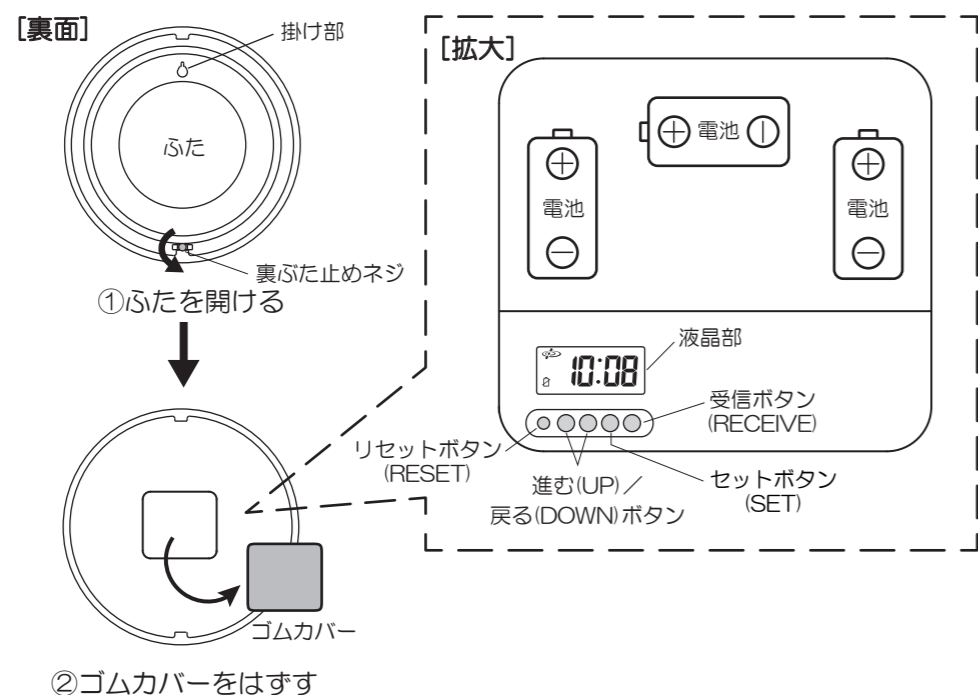
## 液晶パネルについて ▶

見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。温度を低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。また、温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。

## 付属品 ▶ ご使用の前にご確認ください。

- 取扱説明書（本書）1部
- 保証書 1枚
- 掛け具
- 日立マクセル アルカリ乾電池「ボルテージ」単1形 3個

## 各部の名称 ▶ 時計のデザインにより電池、ボタンの位置等は異なる場合があります。



## ご使用方法 ▶

### 1. ふたとゴムカバーを開けてください

- ①裏面の裏ふた止めネジを左に回してふたを開けてください。
- ②中にあるゴムカバーをははずしてください

### 2. 電池を入れてください

日立マクセル ボルテージ単1形アルカリ乾電池3個を入れてください。  
※電池は ⊖ 側から ⊕ ⊖ をまちがえないように注意して入れてください。  
※必ず指定の電池を使用してください。

本製品は長期間使用するため、必ず日立マクセル ボルテージ電池をご使用願います。指定以外の電池をご使用の場合、電池寿命が短くなったり、液もれ等が発生する恐れがあります。

### 3. リセットボタンを押してください

- [液晶部]は「--:--」を表示し、針を停止させて電波の受信を開始します。
- 受信中は受信マーク が変化します。
  - 窓際などできるだけGPS衛星からの電波を受信しやすい場所で行ってください。
  - 受信に要する時間は、最短10秒です。（最長約50分間）

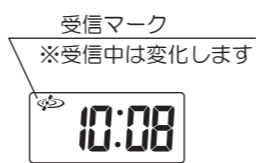
#### <受信に成功した場合>

[液晶部]に現在時刻が表示され、自動的に針を現在時刻に合わせます。

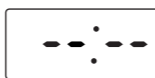
#### <受信できなかった場合>

針は停止したままです。[液晶部]の受信マークは消え「--:--」が表示されます。  
⇒右記「■電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で現在時刻に合わせてください。

注) 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。



[例：受信に成功した場合]



[例：受信できなかった場合]

### 4. 時計を設置してください

ゴムカバーをしっかりとはめて、ふたを元の通りに閉めて、本機を使用したい場所に掛けてください。  
※窓際や時計正面方向に窓があるなどできるだけGPS衛星からの電波を受信しやすい場所に掛けてください。

## ご使用方法 ▶

### ■ 電波を受信できなかった場合

#### 1. 手動で受信させる

[受信ボタン]を約5秒間押し続けてください。

針を停止させ、電波の受信を開始します。

- 受信中は[液晶部]の受信マーク が変化します。
- 受信に要する時間は、最短10秒です。（最長約50分間）
- 受信できなかった場合は、「使用場所について」をお読みの上、場所を変えてもう一度受信させるか、または下項の通り手動で時刻を合わせてください。  
(なお、GPS衛星は地球上を周回しているため、時間帯によって受信状態が変わります。)

#### 2. 手動で時刻を合わせる

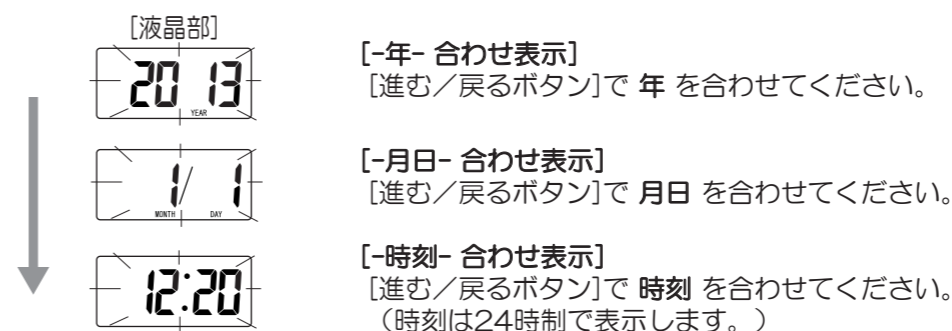
(1) [セットボタン]を約10秒間押し続けてください。

●[液晶部]が時差(例:「+9:00」)を表示してもそのままボタンを約10秒間押し続けてください。

(2) [セットボタン]を押すごとに下図の設定の順で[液晶部]の表示が点滅します。

※約5分以上ボタンが押されなかった場合は自動的に終了します。

※[進む/戻るボタン]を押し続けている間は早送りをします。



(3) 終了しましたら、[セットボタン]を押してください。

自動的に針を設定時刻に合わせます。

※[セットボタン]を押した瞬間に0秒となります。

※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

## 【その他の機能】

### ■ 自動受信について

自動的に電波を受信し、時刻の補正を行います。(受信回数…最多1日4回)

### ■ 受信結果について

[液晶部]の受信マークが以下のように表示します。

: 24時間以内に受信を成功しています。

: 1~6日以内に受信を成功しています。

表示がない: 6日以上受信に成功していません。

(※ または が表示されている場合は、衛星からのカレンダー情報が受信できていません。)

### ■ 電波の自動受信を止めるには

[受信ボタン]を約10秒間押し続けてください。

[液晶部]にOFFが表示され、自動受信をOFFにします。

※解除する場合は、再び[受信ボタン]を約10秒以上押し続けてください。

[液晶部]に on が表示され、自動受信をONにします。



### ■ 電池切れ予告機能について

この時計には電池切れ予告機能がついています。

電池の残量が少なくなると秒針が停止し、[液晶部]に電池交換マーク を表示します。

新しい指定の電池にすべて交換してください。



### ■ リセットについて

[リセットボタン]を押すと初期化を行います。なお、標準時(時差)の分調整は0分にクリアされます。

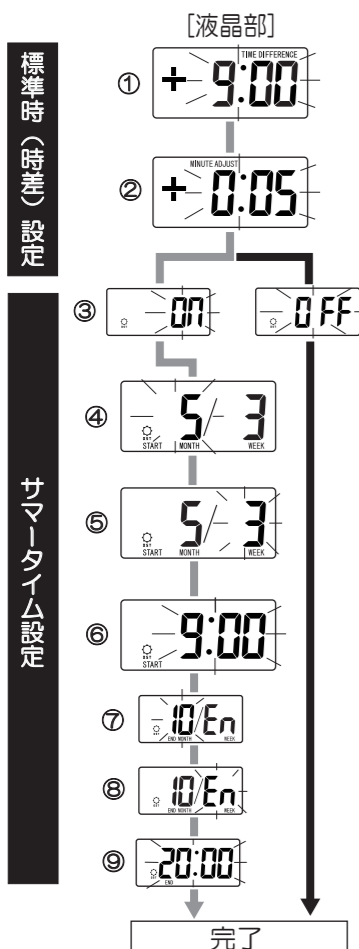
## 海外で使用する場合 ▶

本製品の初期時刻は日本の標準時（協定世界時+9時間）に設定されています。  
 その他のタイムゾーンで使用する場合には、以下の手順で標準時（時差）とサマータイムを設定してください。

- 詳しくはP.1「タイムゾーン、サマータイム」をご覧ください。
- この設定機能は日本国内で時刻をずらして使いたい場合にもご利用いただけます。

### 【設定方法】

- (1) [リセットボタン]を押した後、[受信ボタン]を押してください。
- (2) [セットボタン]を約2秒間押し続けてください。
- (3) [セットボタン]を押すごとに[標準時（時差）設定]→[サマータイム]の順で[液晶部]が点滅し、[進む/戻るボタン]で設定を行います。  
 ※約5分以上ボタンが押されなかった場合は、終了します。  
 ※[進む/戻るボタン]を押し続けている間は早送りをします。



①標準時（時差）を設定する  
 [進む/戻るボタン]で表示させる国・地域の標準時（時差）を設定してください。  
 ±14時間まで30分単位で入力できます。

②分を調整する  
 [進む/戻るボタン]で30分単位では調整しきれない時間（例：5分）を設定してください。  
 ±60分まで1分単位で設定できます。  
 ※ネパールなど時差が15分単位の地域はここで設定してください。

③サマータイムの有無を選択する  
 [進む/戻るボタン]で選択してください。  
 on…有り / OFF…無し  
 ※OFFを選択すると設定は終了です。

④開始する月を設定する  
 [進む/戻るボタン]でサマータイムが開始する月を設定してください。

⑤開始する週を設定する  
 [進む/戻るボタン]でサマータイムが開始する週を設定してください。  
 第1~4週及びEn（最終週）まで設定できます。

⑥開始する時刻を設定する  
 [進む/戻るボタン]でサマータイムが開始する時刻を設定してください。

⑦⑧⑨終了する月 週 時間を設定する  
 上記④~⑥と同様に設定してください。  
 ※サマータイムの開始・終了の日付は選べません。全て日曜日となります。

[セットボタン]を押す  
 設定が完了し、受信を開始します。

＜表：主要都市の時差＞

都市名	時差	都市名	時差	都市名	時差
＜世界協定時＞	0	ニューデリー	+5.5	ソウル	+9
ロンドン	0	バンコク	+7	シドニー	+10
パリ	+1	北京	+8	リオ・デ・ジャネイロ	-3
ベルリン	+1	上海	+8	ニューヨーク	-5
ローマ	+1	香港	+8	ロサンゼルス	-8
モスクワ	+3	台北	+8	ホノルル	-10
ドバイ	+4	東京	+9		

（※国の事情により都市名や時差が変わることがあります。）

### ■ 設定を確認する

通常状態で[進むボタン]を押すごとに[液晶部]は現在の設定された内容を表示します。

- [西暦]、[月/日]表示に続いて、上記で設定した[標準時]、[サマータイム]を①~⑨の順に表示します。

※受信中は、ボタンを押しても表示しません。また、サマータイムがOFFの場合、④~⑨は表示しません。

※5秒以上ボタンが押されなかった場合は通常表示に戻ります。

## 製品仕様 ▶ （改良のため予告なく変更する場合があります。）

- 精度：平均月差±20秒（受信による時刻修正を行わない場合/気温25℃で使用した場合）
- 使用温度範囲：-10℃~+50℃（※液晶表示部 判読可能温度範囲：0℃~+40℃）
- 使用電池：日立マクセル アルカリ乾電池「ボルテージ」単1形 3個
- 電池寿命：約5年
- 受信機能：自動受信（最多1日4回）  
 ・受信から次の受信まではクオーツの精度で動いています。  
 手動受信
- 時刻合せ機能：GPS衛星からの電波受信による自動セットまたは手動セット
- 標準時設定：時差…±14時間まで（設定単位：30分）、分調整…±60分まで（設定単位：1分）
- サマータイム：ON/OFF（ONの場合…開始/終了の月・週（日曜日固定）・時間の設定が可能）
- カレンダー：2000年1月1日~2099年12月31日のフルオートカレンダー（月末、うるう年とも修正不要）
- 電池切れ予告機能：秒針を停止（電池交換マークを表示）して、電池交換時期をお知らせします。

※指針（針の表示）誤差について

製造上、若干の指針誤差が生じる場合があります。

※本製品は長期間使用するため、必ず日立マクセル アルカリ乾電池「ボルテージ」をご使用願います。指定以外の電池をご使用の場合、電池寿命が短くなったり、液もれ等が発生する恐れがあります。

## 故障かなと思ったときは ▶

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。  
 なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置
針が動かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電池が入っていない</li> <li>電池が正しい向きに入っていない</li> <li>電池端子や接片が汚れている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください</li> <li>電池端子や接片の表面を拭いてください。また、電池を入れて2~3回まわして、リセットボタンを押してください</li> <li>リセットボタンを押してください</li> </ul>
針が不規則に動く	<ul style="list-style-type: none"> <li>時刻修正中である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>終了後、通常の運針に戻ります。</li> </ul>
秒針が停止している	<ul style="list-style-type: none"> <li>電池の容量が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください</li> </ul>
スイッチ操作が効かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>受信中である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時刻修正動作が終了してから、再度スイッチ操作をしてください</li> </ul>
時刻が合っていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>受信が成功していない</li> <li>電池の容量が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「■電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください</li> <li>指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください</li> </ul>
サマータイムの設定ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>きちんとリセットされていない</li> <li>標準時(時差)やサマータイムが設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>確実にリセットボタンを押してください</li> <li>進む/戻るボタンを押して設定をご確認ください</li> </ul>
サマータイムの設定ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>カレンダー情報が受信できていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手動で再度受信させてください</li> </ul>
秒針が合っていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>うるう秒が受信できていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手動で再度受信させてください</li> </ul>

## 保証・アフターサービス ▶

- この時計はメーカー保証です。  
 保証の内容については別添の保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。  
 また、アフターサービスも海外ではできません。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買上店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。  
 必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は、7年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。  
 修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買上店とよくご相談ください。
- 修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。
- 保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買上店にお持込みいただきます。修理を依頼される時はお買上店にご持参ください。
- お客様が分解しますと修理不可能になる場合やけがの恐れがあり、大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。
- ご不明の点はお客室相談室にお問い合わせください。